

第 62 回番組審議委員会議事録

1. 開催年月日 令和 5 年 2 月 8 日(水)午後 10 : 30～11 : 30

2. 開催場所 和歌山県田辺市宝来町 8-21 泉ビル 2 階

3. 委員の出席 委員総数 6 名 出席委員 3 名

出席委員の氏名 野村悠一郎、小倉拓、吉田光利

欠席委員の氏名 森下憲一、橘智史、安達克典

放送事業者側出席者氏名 泉清、生田奈穂、濱田由希子、安田正

リモート参加 安田豊

欠席者氏名 洞周作、大崎健志、角田圭三

議題 1) 局側挨拶（現状報告）

2) 議題

☐番組聴取

1 月 10 日(火)の「お昼ですよ！」内で放送したコーナー「北山村からこんにちは」のご聴取、ご意見・ご感想

3) その他番組への質問・意見

4) 今後の放送に対する意見・要望

5) その他

局側挨拶・報告

1. 局側挨拶

泉：おはようございます。前回は12月ということで年末も無事に越えました。コロナも心配しましたがなんとか数字的に落ち着いてきているので4月の年度に向けて野球中継など表に出る事にも力を入れていけるとと思います。

2. 議題

～番組聴取～

野村：北山村は知っているようで知らないですし、そんなに簡単に行けるところではないですが、行ったら良い所ですね。感じ方は人それぞれでしょうけど。じゃばらが有名で和歌山県で唯一の村ですね。

小倉：僕はキャニオニングが好きなので北山村辺りには夏によく行くことがあります。すごく良い所ではあるのですが、**FM TANABE**としてなぜ北山村をここまで推すのかという位置づけが必要かなと。例えば、姉妹都市の提携を結んでいる理由があるとかですね。**FM TANABE**に関わっていた人が今北山村に住んでいるから…でも個人的には良いと思うのですが団体として推す時にはもう少し理由付けがあった方がいいのかなと思いました。新宮市だったら、木材を出

したところと受けたところの繋がりがあって飛び地になったので、新宮のラジオ局があったとしたら北山村も仲間なのでやってるんですって理解出来るのですが、なぜ田辺が北山村をゲストではなくてレギュラーでやっているのか位置づけしておいた方が良いと感じます。

野村：出張所はないのですかね。

小倉：自治体としての繋がりはないですね。

生田：FM TANABE で番組をやってくださっていたパーソナリティさんが今北山村にいらっしゃるというご縁ではじまったコーナーですが、おっしゃる通り突然 FM TANABE と北山村が繋がったような印象を受けられる方もいるのかなと思いました。これをきっかけに田辺市も巻き込んで、コーナーの枠を超えて繋がりや関係性を広げていけたらいいなと思っています。

野村：レポーターはどなたですか？

濱田：パーソナリティネームなのですが、ポテサラ子さんという元々田辺で観光振興関係のお仕事をされていて今は北山村での観光振興、コンサルタントを務めていらっしゃいます。ですので、北山村の盛り上げに一躍担っているかたちです。

安田正：田辺や北山村に限らず熊野に詳しくてすごく勉強されている方です。ですので、いろんな意味で関係性を広げていくことによって情報を共有出来れば、住民の方でなく観光客などリスナーの獲得にもつながるかなと思っています。北山村は電波で受信できない地域ですので、こういった発信をすることで FM TANABE を（インターネットで）聴いてもらえるきっかけになるのではないかと。他には本宮でもそういうやり取りをしていますし、去年から力を入れているのは龍神村にも定例的に学校に取材に行ったりしております。そういった意味では今いろんな地域との関係作りをしているところです。

濱田：今モデルケースを作っているといったところもあります。

小倉：種は撒いておいたら全部咲かなくてもどれか咲いたらいいですよ。

吉田：北山村と太地町と一緒に体験学習されているのは良いですね。一年生が 9 名入ったとおっしゃってましたが、人口減少や若者離れなどいろんな地域課題を抱えているところが多いなと考えていて、この先 40 年 50 年先誰もいなくなるとかいう村もあるので、体験プラス大人も子どもも村民の方が一緒になって、こんな事したら地域外から人が呼べるのではないかななどのアイディア出し合ってそれを

放送することで興味を持って田辺から事業を起こしに行く人が出てきたら面白そうだなって思いました。

泉：実際生活している方の視点でね。

吉田：そうですね。新しいアイデアが生まれるかもしれないですよ
ね。

安田豊：みなさんご意見ありがとうございます。北山村と太地町との交流はわたしもこの放送を聴いて知りました。広域で考えると紀南、特に白浜より南に FM 局がないのであった方が良くと岸本知事もおっしゃっていました。わたしたち FM TANABE としても、出来るだけ南の方に臨時災害放送局などが出来る可能性があるのなら支援もしたいと思っています。それと、もじけハウスで絵を描いている田辺在住のアーティスト廣本直子さんが、北山村の 100 の民話という本の挿絵を描かれています。過去にもこういった交流がありますので、北山村の人は田辺市を身近に感じているかもしれません。このコーナーがまた交流のきっかけとなって、観光やビジネスなど良い方向に広がってくれるといいなと期待しています。今日の皆様のご意見も参考にしながら、FM TANABE としても出来るだけ良い方向に考えていきたいと思っています。

小倉：北山村は電波が入らないということですが、本宮などと同じようにケーブルで聴けるようになるのですか？

泉：北山村は田辺市ではないので、インターネットで聴いていただく事になります。

濱田：このコーナーは月に一回放送しているのですが、北山村の行政関係の方たちで作られている LINE グループで行政からのお知らせとして、今月何日に北山村のコーナー放送ですといった内容を村民の皆さんに流してくださっています。

小倉：町内放送の LINE 版って感じですね。

3.その他番組への質問・意見

特になし

4.今後の放送に対する意見・要望

小倉：せっかくなので FM TANABE が北山村の観光ツアー組んでも面白いかなと思いました。田辺市民向けでもいいですし、外部向けでも。あと、取材に行かれた時って告知されているのですか？例えば、今日ここに行くので見に来たい人は来てね～みたいなのはアリなのかなって。

濱田：今日ここに…というのは無くて、行った後に写真を撮っていつ放送ですという告知や、いついつ放送しましたといった報告は SNS でやっています。

吉田：僕も今回のコーナーを聴かなかつたら知らなかったこともたくさんありましたし、いろんな情報発信をこれからもしてくれたら嬉しいかなと思います。

5.審議機関の答申または改善意見に対して採った措置及びその年月日

特になし

6.審議機関の答申または意見の概要の公表方法

内容：審議内容について公表

方法：ホームページ掲載 (<http://www.fm885.jp/>)

7.その他参考事項

特になし